



第1課 どうぞよろしく！

できること具体例

- 簡単な自己紹介を、漢字を使って書くことができる。

とびら

◎とびらに出ている学習漢字

【提出漢字】日、本、語、学、校

◎教室でのやり取り例

日本語学校

T：〈日本語学校のイラストを指しながら〉これは何ですか。

L：がっこう。

T：「学校」の漢字はどれですか。

【学習者から出てこない場合】

T：会社ですか。学校ですか。

L：がっこう。

T：何の学校ですか。

L：にほんご。

👉 ポイント

この建物は何なのか考えてもらいます。先生と学生の様子から学校ということ、日本語のあいさつを黒板に書いているところから日本語学校とうことがわかるといいと思います。第1課なので、漢字は何もわからなくてもかまいません。

書きマス目ページ

◎覚え方のヒントと留意点

1 「私」

右のパーツがカタカナの「ム」と同じだということを確認します。「ム」の部分の鼻の形に似ていることから、「日本人は『私』と言うとき、鼻（「ム」の部分）を指す」という覚え方を紹介してもいいでしょう。



2 「人」

「人」の絵からできた漢字だということを紹介します。



3「才」

カタカナの「オ」と似ていることと違う点を確認します。

4「学」

カタカナの「ツ」が入っていることを確認します。

5「生」

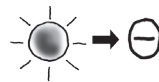
母語の影響で「せん」と読む学習者がいるので、読み方をしっかり確認します。

6「校」

漢字を学んだことのある学習者がいれば、「『学校』には『木』がある」というストーリーを使って覚えるストラテジーを紹介してもいいでしょう。

7「日」:

太陽の絵からできた漢字だということを紹介します。



8「本」

「木」との違いを確認します。

9「語」

構成要素（パーツ）に分けられる漢字があることを紹介します。板書して、どこで切れるか、学習者に考えてもらいます。「私」「学」「校」もどこで切れるか確認します。（漢字のきほんの「漢字を切ってみよう」参照）

ポイント

- ①②…字形の問題
- ③⑤…読み方の問題
- ④…似ている漢字の問題

練習1 書いてみよう

I パーツから漢字を作る問題です。やり方をよく確認してください。

練習2 やってみよう

この課の提出漢字を使って、自己紹介を書きます。既に漢字を知っている学習者がいる場合、この課の提出漢字に限らず、知っている漢字があれば書いてみるように促してください。